



ちとせたい

学校だより 第 9 号
平成30年12月20日
六ヶ所村立千歳平小学校
文責：教頭

ときめきを

校長 澁田健太

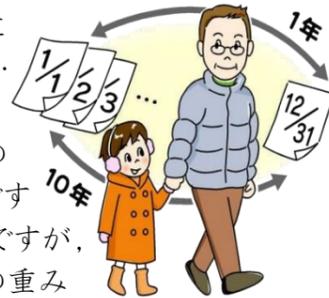
「早いもので」という言葉を口にしたいくなる時期になりました。「今年も残すところ」などと話しては、時が過ぎ去る速さを実感する12月の下旬です。

しかし、子どもの頃はそんなことを思ったことはありませんでした。楽しい夏休みが終わった後、冬休みは何万光年も先のはるか未来の話であり、気の遠くなるほどの長い時間の先にある希望でした。

ところが、56歳になった私には、「ああ、あれとあれと、あの行事をやれば、2学期も終わって冬休みだなあ」と、見通しのつく、すぐそこにある予定に過ぎない感覚になってしまいました。

大人になると時間がたつのが早く感じると思ったことはないでしょうか。これには、きちんと理由があるとのこと。その一つに19世紀のフランスの哲学者・ポール・ジャネが発案した「ジャネーの法則」があります。

この法則の中身は、「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する(年齢に反比例する)」という、なんだかよくわからない法則ですが、簡単に言うと、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどですが、5歳の人間にとっては5分の1に相当するとのこと。よって歳をとるほど1年の重みが減り、主観的に感じる年月の長さは歳をとるほど短くなる(時間が早く過ぎる感じる)ということです。いまひとつピンときませんが、算数的にはなんとなくわかるような気がします。



しかし、もう一つの考え方は、「なるほど、それはあるかも」と思いました。それはある番組で紹介された内容です。

NHKの『チョコちゃんに叱られる』という番組をご存知でしょうか。ある日の番組でチョコちゃんが「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはなぜ？」と回答者に質問しました。その回答にチョコちゃんは顔を真っ赤にして「ポーっと生きてんじゃねえよ」と一喝(いっかつ)し、回答者を叱りつけました。チョコちゃんは、その訳を知っていました。その訳とは「大人になるとトキメキがなくなるから」と、したり顔で断言していました。

時間の感じ方には心がどのくらい動いているかが重要だそうで、「トキメキをどのくらい感じるかで変わる」のだそうです。子どもは一つの事に対して、さまざまな感情が生まれてくるため同じ時間でも長く感じるのだそうです。大人になると一つの事柄に対して、これまでの経験を元に対処するため、感情を生み出すというよりは作業の繰り返しを感じるだけなのだそうです。つまり「トキメキ」がないということです。ジャネーの法則よりは、なんだかしっくりきます。

本校の子供たちは1年が長いと訴えてきます。毎日が新鮮でトキメいていたんでしょね。彼らの毎日を、ただの繰り返しにさせないよう、本校の教育活動に惜しみないご理解とご協力を賜りました保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。

平成30年が幕を閉じ、新しい年がやってきます。私たち大人も「トキメキ」を大いに感じる年にしようではありませんか。そして、ドキドキワクワクするような年にしていましょ。

それではみなさま、良いお年をお迎えください。

「ときめき」感じた！ ① 【11/27-28 修学旅行 ver. 2】

何と言っても、ときめきをなぞり直した「2度目の」修学旅行！

南小学校と合同で、再び函館の地へ…

自主研修で街を歩いた後は、函館山からの夜景。→

オフシーズンということで他に修学旅行生の姿はなく展望台は貸切状態。思う存分、光の芸術にひたりました。

ホテルに戻ると温かい夕食が…↓



心づくしの食事を「明るい」部屋でいただく喜びも味わいました。今回の旅行のキーワードは「感謝」



帰る直前の11:23… 震度3の揺れが…でも大丈夫。子どもたちは落ち着いて行動できました。わずか7分後に海鮮丼やそばを味わうこの余裕！

そして、再び無事に青森に帰ってきました。 よかったね!!

「ときめき」感じた！ ② 【11/28 読み聞かせ】



5年生が読み聞かせデビュー！ 聞いている3年生・4年生も真剣な表情です。

1回5分程度の短い時間ですが、この日のために一生懸命読む練習をした気持ちが伝わったからでしょうか。

本は想像の翼を広げ、小さな子どもの心にも大きなときめきを与えてくれます。この機会を大切に続けていきます。

「ときめき」^{かん}感じた！ ③ 【やはり“勉強”でしょう！】

【11/29：1年算数】



← ICT支援員の木村さんに教えていただき、1年生だってタブレットをスイスイ…

↑ 「引き算の問題を作って発表し合う」というテーマに向かって、奮闘中！

【11/15：4年いのちのお話】



↑ こんなに小さかったんだ…と本当に「守りたくなる」いのちを実感する授業。

【12/4：2年国語】



↑ 2年生は、ドラえもん秘密道具に習って「あったらいいなもの」を開発中。

【11/15：5年算数】



↑ 自分の考えを相手に分かるように伝えるのは、大人でも至難の業。時間をかけて丁寧に説明します。

★ 家庭教育学級 開きました 【12/6】

参観日の機会を利用して、西地区PTA連絡協議会の事業として実施しました。おいらせ町の教育相談員である柏崎久美子氏をお招きし、「教育相談を通じた活動から ～今、家庭でも考えたいこと～」と題して講演していただきました。

スマホやSNSの利便性や怖さを知り、中学・高校生活にうまく適応していくための「親の出番」の重要性を学びました。

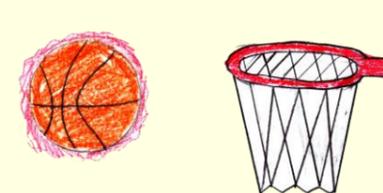
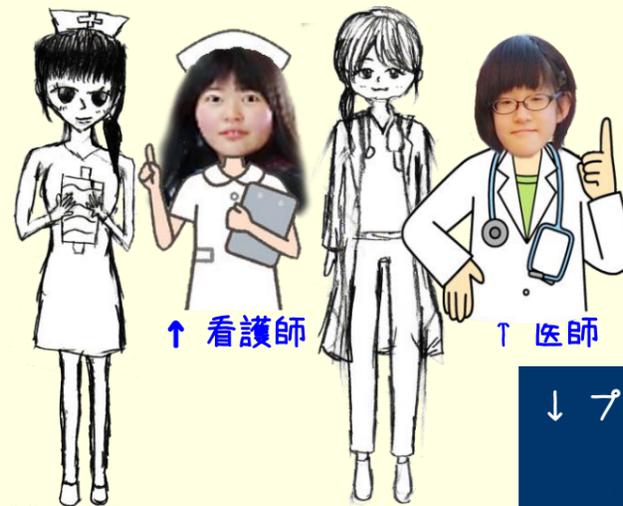


☆ キャリア教育にふれて… (6年生の考える未来の職業は?)

自分のなりたい「未来の職業」について、アンケートをとった結果です。イラスト付きで書いてくれた人もいたので、文とっしょにつけてみましたよ。



→ 何かを「つくる」人 (大工・科学者・職人・神など) 他人が活躍するのに協力する裏方が、かっこいい!



↓ プロバスケットボール選手

↓ Like Michael Jordan



↑ Makes a buzzer beater cool, Like LeBron James

